

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	色彩	(NGM10I)
講義名 (コード)	色彩	(NGM10IX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年 1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数 1
授業担当者	長谷川 胖	時間数 30
成績評価教員	長谷川 胖	講義期間 秋学期
実務者教員	はい	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	色彩感覚を覚え、条件の中で『メッセージ』のある動画・写真撮られる
全体の内容と概要	購買意欲を増進させる色彩効果など～色からマーケティングを高める色彩心理学を学びます。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	色彩とは何かを覚える	色彩って何～色の数・色って何かを、みんなで考える
2	色をコントロールする 1	加色混合・減色混合～TVモニターと印刷物の再現をコントロールする
3	色をコントロールする 2	音・光・振動 すべて『波』 振幅と波長 此の波の持つ性質を色について考える
4	写真・動画撮影に執拗な事を覚える-1	色温度・ホワイトバランス～人の目は色についてとてもいい加減でありシビアを知る
5	写真・動画撮影に執拗な事を覚える-2	印刷のイロハ～写真印刷の知識があるだけでもこんなにも製作物に影響がある事を知る
6	写真・動画撮影に執拗な事を覚える-3	自然光と人工照明～人が感じる照明とは・人が感動する光とは～照明による色表現を考える
7	写真表現に使える撮影テクニック 1	色相・彩度・明度・コントラストの基礎と応用編
8	写真表現に使える撮影テクニック 2	はたしてデジタルで色は再現できるのか? デジタルカメラについて考える
9	色が人に与える影響を覚える	本当に皆、同じ色をみているのか～色が人に与える影響を考えると撮影時に考えなくてはならない事
10	色彩から考える写真・動画 実践 1	これまで色彩について考えてきた事を踏まえてライティングの実践
11	色彩から考える写真・動画 実践 2	色情報の加工と、人に見せる写真・動画とはを考える
12	色彩から考える写真・動画 実践 3	人に見せる写真～デジタル化のメリット・デメリットとメッセージある写真・動画を考える
13	撮影とは何かを自分で感じる	メッセージは何なのか? テクニックだけでなく撮影映像の原点を考える
14	まとめと解説	条件の中で『メッセージ』のある動画・写真を撮ろう
15	まとめと解説	フィードバック(みんながお互いに良い悪いではなくて主張・評価・理解できることがこれからのビジュアルの世界で活躍・生き残る大事なこと。)

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	